

# Solidifying

2017 年

55インチ液晶ディスプレイ , UHD 3840×2160, ループビデオ , 1 時間 , サイレント

## 「凝固し融解する『写真』の様相」

現在、私達が写真として見ているものの殆どはデジタル画像である。しかし、それを敢えて「デジタル写真」と日常的に呼ぶことはない。このデジタル「写真」に対してデジタル加工を加えていったとき、どの段階までそれを「写真」と呼ぶことができるのだろうか。もしくは、デジタル画像である時点でもはやそれはピクセルの集合体でしかなく、写真と呼ぶことは適切ではないのかもしれない。しかし、私はこの作品を「時間軸を持った写真表現」としている。

私はこれまでデジタル写真を自ら撮影し、それを Adobe Photoshop のような画像編集ソフトウェアにおいて加工し、作品としてきた。その加工の内容は、複数枚のデジタル写真をレイヤーとして重ね合わせ、1 枚のイメージを作り出すというものだ。その際、銀塩写真の時代ではあり得なかった合成である、ブレンドモード「オーバーレイ」を用いている。オーバーレイでは重ねるレイヤー（上側）と重ねられるレイヤー（下側）に区別があり、そこでピクセルの比較・演算が行われている。また、近作では「ペンライト」というブレンドモードも用いている。

これらの作品を制作する際、画を作るためにレイヤーの順序を入れ替えたり、素材となる写真そのものを交換しながら試行錯誤を進める。それぞれのレイヤーの保持する不透明度を調節することも行われる。パーセンテージが 100% ならば画像が最大の強さ (= そのまま) で表示され、0% に向かっていくにつれ透明になっていく。この不透明度の操作は、微小な量で大きく見た目に変化する。特にオーバーレイを用いた作品ならば、その性質から最下層のレイヤーに手を加えることで画が大きく変化する。パラメーターを変化させては画の調子を確認し、また変化させることを繰り返す。

ゆっくりと不透明度のパラメータが上昇していき、画に要素が表れて定着していく様相は、さながら写真が凝固しているようだ。反対に、不透明度が下がっていき、画から要素が抜けていく様相は融解と呼ぶことができるのではないか。

私は写真を重ね合わせるという行為とその表れに、時間軸を持たせることをこの作品で試みている。複数枚の写真がそれぞれの速度で「凝固」と「融解」を繰り返しながら刻々と光景が変貌していく。溶けていく写真と固まっていく写真が幾重にも折り重なった状態がいつまでも続く、凝固し続ける様相としての写真を本作品“Solidifying”は提示している。

Solidifying は二つ以上の静止画作品の写真レイヤーと、さらに追加された写真数枚によって構成・制作されている。既に静止画として完成した作品を基点として使うが、それは単に二枚の静止画作品 A と B がクロスフェード変化（ディゾルブ変化）していることとは異なる。基点となる作品をレイヤー構造のまま扱い、その状態で動画形式に再構成している。それぞれのレイヤーがそれぞれの速度、タイミングによって不透明度を変化させて画を作り上げていく。本作品では追加された写真も合わせた 13 のレイヤーの折り重なりによって、作品 A でも作品 B でもない、新しい「光景」が作品時間を通して生み出されている。

作品で扱っているモチーフは、都市と呼ばれる場所や、そこに並ぶ建築物、あるいは街の商店街や住宅街の風景である。しかし、私が主題としたいのはそれらではないし、それらの風景から、新しい風景を創造したいのでもない。

私が作り出したいのは光景 (=spectacle) である。風景 (=scene) を写真によって採集し、重ね合わせることで生み出された表現としての光景だ。そこにあるのはもはや「どこでもない」光景であり、同時に筆者自身が「これこそが見たかった」光景でもあるのだ。その光景、スペクタクルには、現実の記憶を引き出す引っかけりのような要素もあれば、現実味の無い色彩に加え、色の付いたガラス板やアクリル板で覆われたかのようなイメージが広がっている。

本作品のタイトルである“Solidifying”とは何か凝固する様相を意味している。凝固していく風景ではなく、凝固していく光景。この「時間軸を持った写真表現」は、日本では定着することのなかった、“photograph”の訳語となることば「光画」が持っていた意味合いがじっくりくるのではないだろうか。「真」実を「写」すのではなく、「光」で「画」くという性質を持ったメディアであるということ。そして、作品を制作する段階においても、作品を展示する段階においてもそれ自らが光輝くディスプレイを用いていることは、決して、偶然ではなく必然性があると考えている。

2017 年 6 月 29 日

原田 和馬